

## <寺内町“富田林”> 界限を巡る！

2018年11月29日(木)

### 中世(16世紀)からの伝統が、現代に息づいている街！

先史時代から石川流域の平野部を中心に発展した南河内地域には、多くの文化遺産に恵まれている。特に、南河内が歴史の要衝となる南北朝時代以降は、富田林・久宝寺・大ヶ窪・八尾などの宗教自由都市・寺内町が形成され、史上類を見ないほどの政治的・経済的活況を呈するのである。

寺内町とは、一向宗(浄土真宗)寺院と共に発展した町で、公課租税の免除など独自の特権を持ち、土墨・環濠・当て曲げの辻などの戦国時代を生き抜く自衛的「まちづくり」の知恵が随所に見られる。

富田林寺内町は、興正寺別院を核として永禄年間(1558~1569)に造られる。興正寺門跡第14世証秀上人は、何処にも属さない富田の荒地を銭百貫文で譲り受け、近隣4ヶ村(新堂・中野・毛人谷・山中田)の代表8人に寺院建立と町割りを要請し、完成した寺内町を「富田林」と命名する。

江戸時代中期になると、富田林の宗教自治都市的性格は次第に薄れ、良質米・河内木綿・石川の水運や各地に通じる街道の流通などにより南河内随一の在郷町(商工業都市)になる。旧杉山家(国指定重文)や仲村家(府指定文化財)を始め、数多ある古民家・蔵などの町並みが今では往時を偲ぶ縁になっている。

旧杉山家は、富田林最古の町家。寺内町創立に関わった8人衆の一人であった杉山家は、江戸中期以降には造り酒屋で財を成し、町割りの一面を占める広大な屋敷地の中に主屋・酒蔵・土蔵などが軒を接して建てられている。内部造作にも贅の限りが尽くされ、正に「日本建築の粋」の結晶ともいえるのである。

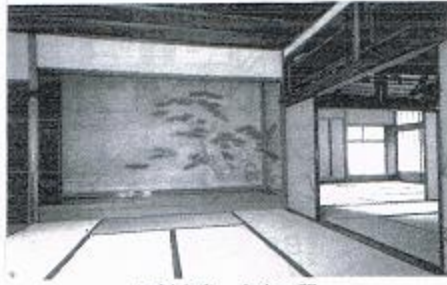
富田林市は昭和58年(1983)にこの屋敷を購入し、江戸期の古図面に基づいて修復工事を行い、間取り・生活様式などを詳細に調査・復元の後、広く一般公開している。

また、旧杉山家は明治末期に与謝野晶子らと雑誌『明星』に作品を発表した歌人・石上露子の生家として知られている。露子は幼少の頃から文雅の造詣深い両親・祖父母の下で、和歌・日本画・上方舞などの嗜みと教養を身に付けると共に、大阪のミッション・スクール梅花女学校(現梅花女子大)に学ぶなど、海外から齎された新思想や生活文化の中で育っている。従って、露子好みともいえる伝統的な設えと融合した「モダン」さや「ハイカラ」さが屋敷の随所に伺えるのである。

水先案内人：牧 彰(会員)



富田林寺内町の町並み



旧杉山家・大床の間



深窓の麗人・石上露子

○参集地：JR「茨木」駅12時00分(12:07発)

○順路：「茨木」⇒「大阪」⇒「天王寺/大阪阿部野橋」⇒「古市」⇒「川西」～錦織神社(重文)～水群家(天誅組遺跡)～富田林町「旧勝間家～仲村家～寺内町センター～旧杉山家(重文)～木口家・中井家～橋本家～興正寺別院～妙慶寺～田守家～杉田家～葛原家～奥谷家～佐藤家～越井家～奥谷家～じないまち交流館(17時頃解散)」～「富田林」V懇親会(カフェダイニング「アプリコット」)・居酒屋「よりどり味鳥」等

○入館料：旧杉山家400円(320円)

※( )は団体割引。

○参加費：無料(会員外は資料代100円)

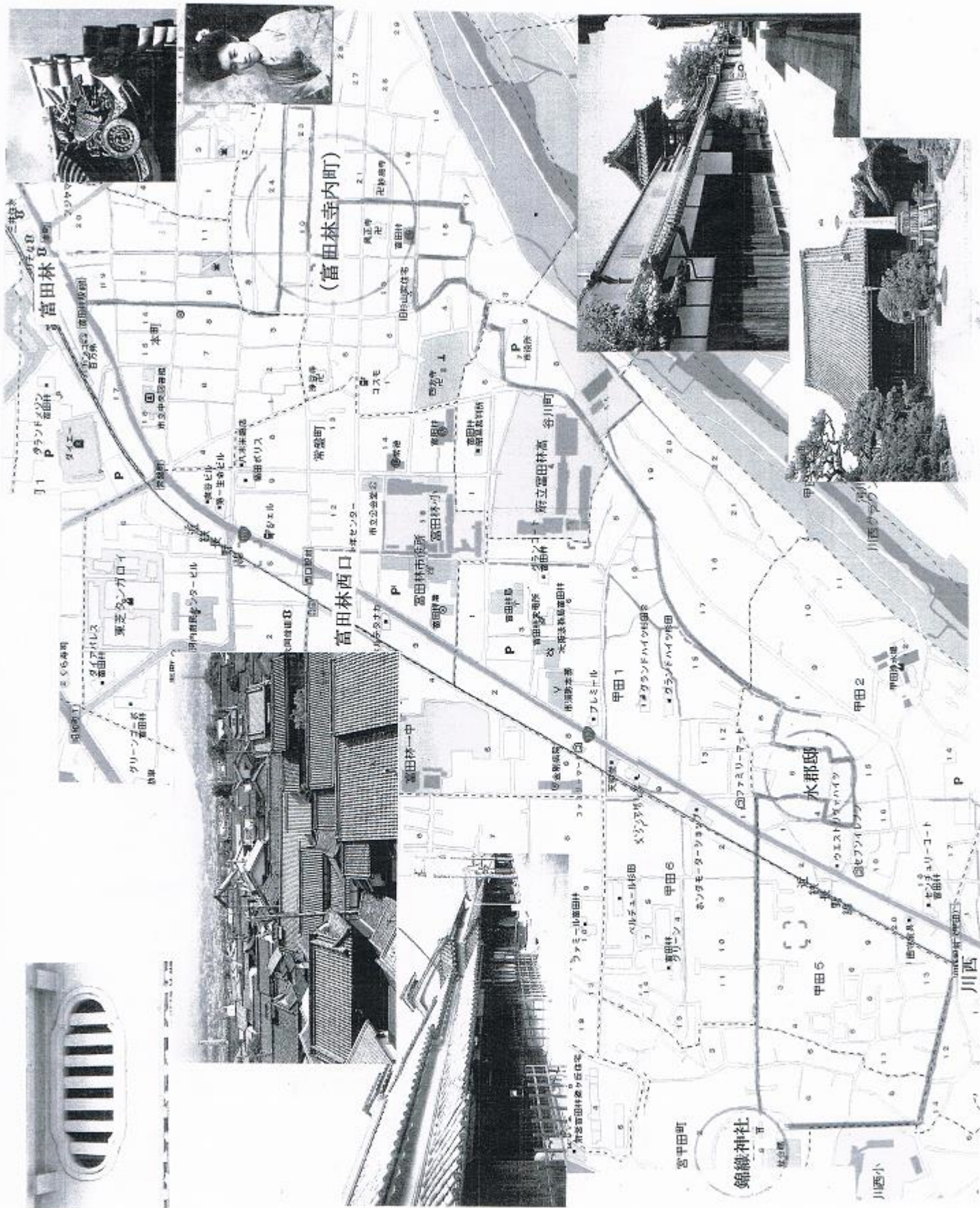
※会員には、会より1,000円の補助あり。

○申込先：「街 ing いばらき」代表・阪田 浩(080-1436-9881)

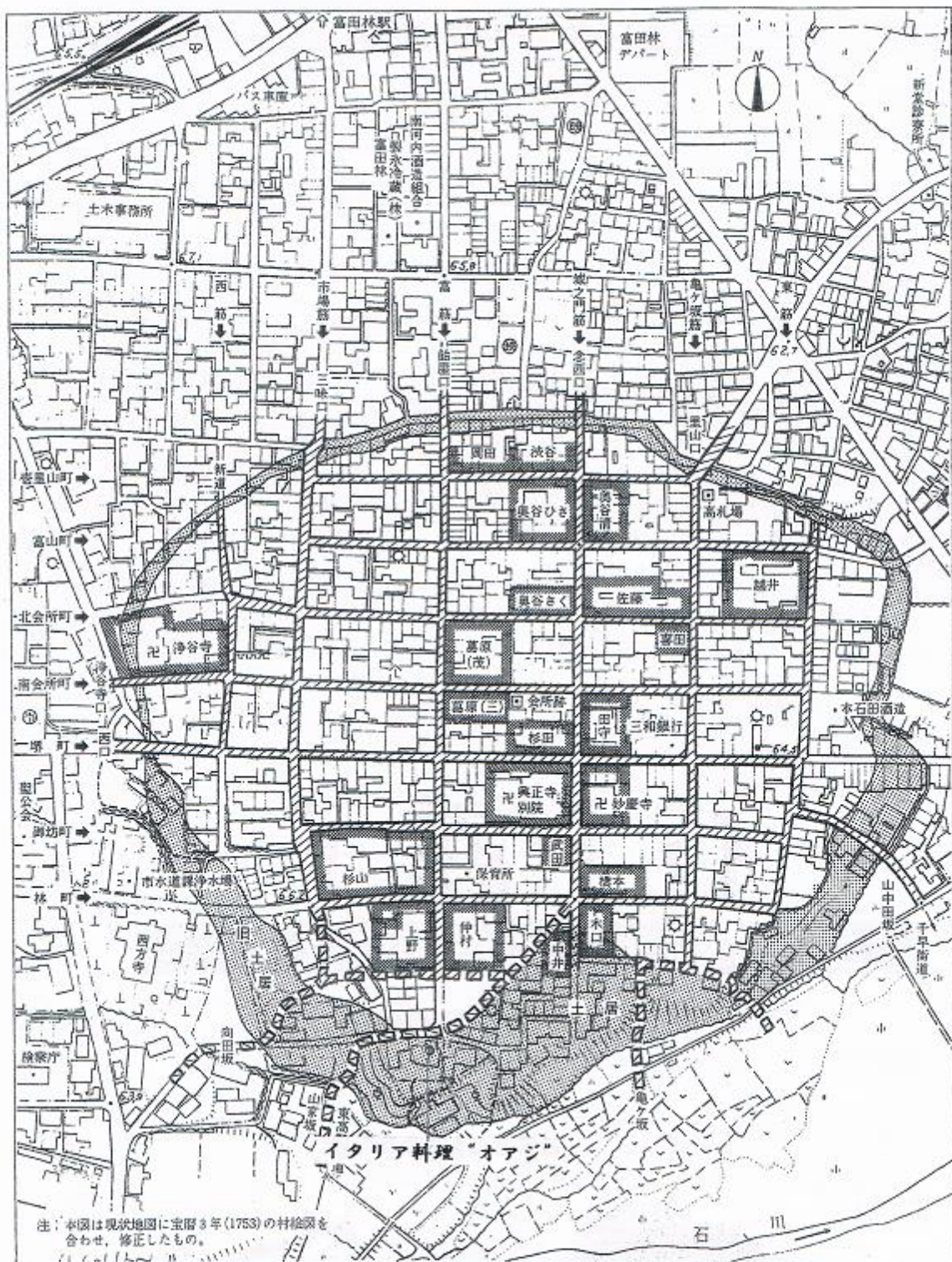
※会員外の参加、大歓迎!

Tel&Fax/072-627-3480 E-mail/ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

※本会行事は、自由参加です。不測の事故・傷害などは、自己負担でご対応ください。



『<寺内町“富田林”>界隈を巡る』案内図



### ＜富田林寺内町の街割り＞

寺内町は、主に戦国期において寺院境内地に、町家を取り込んで建設された宗教的都市とされている。中核となる宗派は浄土真宗(一向宗)が大多数を占めるが、攝津尼崎本興寺のように日蓮宗寺内町もある。真宗の寺内町は、15世紀末以降、布教域の伸張が著しかった近畿・北陸・東海地方に集中している。建設時期は、越前吉崎(1471年)から河内八尾(1606年)建設までの約130年間である。

寺内町都市域の空間的特徴は、地形条件で限定される。平野部に建設された今井・久宝寺・八尾などは、環濠・土居によって囲われ、環濠は、防衛的役割の他に、排水路・灌漑用水としての機能を担っていた。

環濠のない富田林などは、段丘崖末端にあって地形上防御されている。そして、出入口には木戸門・番屋が設けられる。一般には、街路は出入口で丁字に折れ曲がり、閉鎖的空間構成をなしている。

街区は整然と格子状の街割りがなされ、東西を長辺、南北が短辺の矩形街区をなし、背割りによって東西街路に面する二面町を構成する。また、中核の真宗寺院は、東正面を原則としている。



寺内町の老家・杉山家の旧別荘を改装。建築の意匠は建設当時のもの。



南河内の良さをギュッと凝縮したひと皿を

**OASI**  
オアシ  
0721-21-3078

イタリアや京都の名店などで経験を積んだ杉本園志シェフがソムリエでもある異様と5年前にオープン。「南河内には農業が盛んなんです。郷土の味を濃くしたイタリアの料理店と同じように、地元で採れた旬の素材を味わってもらいたくて」と、地元産の野菜と自家茶園で採れたハーブのみを使用し、見目美しく仕上げた料理を提供。店内からは山並みを背景とした庭園を一望でき、建築に作られたりと園とともに時間を忘れてゆったりと過ごす。

~~~~~  
景ごは人  
~~~~~

ランチは前菜、パスタ、メイン、デザート、パン、食後の飲み物で3,800円のコースのみ。写真は15~20種の旬野菜の盛り合わせと前菜「南河内産上ブロッコリーのソースで炒めた、お肉は肉の手打ちチキスタ、家庭用食塩の鶏豆苗による器やお肉や肉内材を使ったフグプレートなど、食感も豊富。

◎大阪府富田林市富田林町3-13  
◎12:00~15:00(12:30料理スタート)、  
18:30~22:00(19:00料理スタート)  
※完全予約制  
◎月 ◎不可 12  
◎近鉄富田林駅から徒歩10分

大阪の中心地からすぐ！  
江戸風情残る街をぶらり  
高亮が盛んな在籍街として発展した寺内町。  
現在も当時の町割りや築米を物語る貴重な住  
宅が数多く残り、大阪府内唯一の重要伝統的建  
造物群保存地区に選定されている。町家を利  
用したお庭も巡りながら、街歩きを楽しんで。

富田林・寺内町  
Tondabayashi  
Jinnai-chō

歴史を感じる  
街並みを歩く

ひとり旅難易度☆☆☆☆☆  
大阪阿部野橋駅から車で約20分  
Photo/Stephen Taka  
Text/Hiroko Sugita



オアシ  
完全予約制<イタリア料理 "oasi" >